

科目名	生物演習 I		学年	類型・コース	単位数
			2年	自由選択2・普通	2単位
学習の目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生命現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てる。生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。生物基礎で学習した内容を応用的・発展的に理解を深める。				
教科書 副教材	主たる教材：自主教材 副教材：なし				
評価	評価法	①定期考査(各学期1~2回) ②小テスト ③ノート ④授業反応 ⑤実験態度 ⑥実験操作 ⑦実験レポート			
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図る。	
		b	思考・判断・表現	生物や生物現象を科学的に探究するために、見通しをもって実験や観察を行い、一連の学習を自分のものにする。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に対して主体的に関わり、気付きから課題を解決しようとする態度を養い、生命や自然環境の保全を尊重する。	
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1~10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1~5の5段階）にまとめます。					

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1 学期	4月	6	生物の多様性と生態系1	植生の多様性と遷移を理解する	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	5月	8	生物の多様性と生態系2	バイオームとその分布について理解する			
	6月	8	生物の多様性と生態系3	生態系とその保全について理解する			
	7月	4	生物の特徴	原核細胞、真核細胞、細胞小器官を顕微鏡で見ることができる			
夏休み							
2 学期	9月	8	代謝	呼吸と発酵、光合成のしくみがわかる	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	10月	8	DNAの構造と遺伝情報の分配	体細胞分裂の観察を通して、分配の仕組みや遺伝子とゲノムの関係がわかる			
	11月	8	遺伝情報とタンパク質の合成	パフを観察し、転写と翻訳を理解する			
	12月	4	体内環境の維持	血液、神経、ホルモンの働きを理解する			
冬休み							
3 学期	1月	6	生物の環境応答1	動物の反応と行動を理解する	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	2月	6	生物の環境応答2	植物の環境応答が理解できる			
	3月	4	生物の進化と系統	地球生命の起源と進化を理解する			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
毎時間の授業を大切にし、テスト前は演習問題を繰り返し行うとよい。